

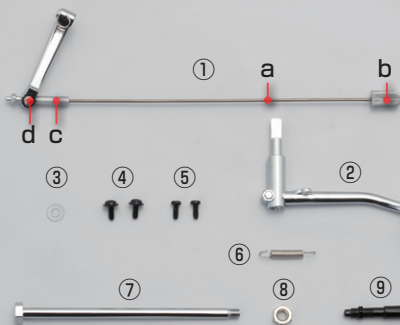
今号の作業

リヤブレーキロッドと ブレーキペダルを取り付ける



今号では、28号の作業でリヤホイールに取り付けておいたリヤブレーキパネルに、「リヤブレーキアーム」と「リヤブレーキロッド」を、メインフレーム右に「ブレーキペダル」を取り付ける。手順がやや多いので、慎重な作業を心掛けよう。

今号のパーツ



- ①リヤブレーキアーム×1 (※組み立て済み)
a:リヤブレーキロッド×1
b:リヤブレーキロッドコネクター後×1
c:リヤブレーキロッドコネクター前×1
d:コネクター固定ピン×1
(a~dは①に取り付け済み)
- ②ブレーキペダル×1
- ③樹脂製ワッシャー×1
- ④ビス(Dタイプ)×2 (※1本は予備)
- ⑤ビス(Bタイプ)×2 (※1本は予備)
- ⑥ブレーキペダルスプリング×1
- ⑦フォークピボットシャフト×1
- ⑧メタルナット×1
- ⑨スプリングホルダー×1

※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様が異なる場合があります。

※⑦⑧は今号の作業では使用しないので大切に保管しておこう。

使用する道具

- ・+ (プラス)ドライバー (1番)
- ・ラジオペンチ
- ・クロスレンチ (9号で提供したもの)
- ・マスキングテープ (セロハンテープでも代用可)

用意するもの

- ・リヤフォーク&リヤタイヤ (31号で組み立てたもの)
- ・メインフレーム右 (32号で提供したもの)
- ・ビニール袋 (小/パーツが入っていた袋でも可)
- ・ビニール袋 (中/リヤフォーク&リヤタイヤを収納できるサイズのもの)
- ・油性ペン



STEP 1
31号で組み立てたリヤフォーク&リヤタイヤを用意する。リヤフォーク左側後端部に取り付けしたメタルナットを取り外し、リヤアクスルシャフトを抜き取る。



STEP 2
リヤタイヤ右側を上にし、中心部に取り付けたブレーキパネル下部のストッパーアームをゆっくりと引き抜く。



STEP 3
リヤタイヤを左右から挟むように持ち、右側面のブレーキパネルと左側面のファイナルドリブンスプロケットが落ちないように注意しながら、真後ろに引いてリヤフォークから取り外す。



STEP 4
リヤタイヤは右側を上にして置き、ブレーキパネルを取り外す。写真の状態になれば、今回の作業の準備は完了だ。



①リヤブレーキアームを用意し、先端の裏側に突き出した軸部分を、写真で示したリヤブレーキパネルの穴へセットする。



リヤブレーキアーム裏面の軸部分を、真っすぐに穴へ差し込む。この時、アームを左右に少し動かして、スムーズに動くかどうかを確認しておこう。



ブレーキアームが抜け落ちないように指先で押さえたまま、ブレーキパネルを裏返す。写真に示した位置に、ブレーキアームの軸部分が見えているかを確認する。



④ビス(Dタイプ)を用意し、ブレーキアーム軸部分の穴にセットする。



1番の+(プラス)ドライバーを使い、ビス(Dタイプ)をねじ込む。ブレーキアームの軸がガタガタと動かず、なおかつスムーズに回るように、ねじ込み加減を調整しよう。



次にリヤフォークを写真のように持ち、リヤブレーキストッパーアームを取り付けているピンに、③樹脂製ワッシャーをセットする。



ワッシャーがピン先端から外れないよう両側からしっかりと押さえ、そのまま“ワッシャーが変形するくらいの力”で奥まで押し込む。ワッシャー中心の穴が小さいので難しいが、穴径が次第に大きくなる(=同時にワッシャーも“円すい状”に歪む)ので、必ず押し込める。



⑨でブレーキアームを取り付けたブレーキプレートホイール右側面に組み付け、再びリヤフォークに取り付ける。取り付け方は29号の『組み立てガイド』を参照しよう。

STEP
13



抜き取ったリアアクスルシャフトをリアフォーク右側・後端の穴に差し込み、そのままブレーキパネル、ファイナルドライブスプロケット、リアフォーク左側・後端を貫通させる。

STEP
14



最初に取り外しておいたメタルナットを用意したら、突き出したリアアクスルシャフト先端のネジ部分にセットし、指先で右に回して仮止めしておく。

STEP
15



リアブレーキストッパーアーム後端・裏側のピンを、ブレーキパネルの穴に差し込む。

STEP
16



先端にマスキングテープを巻いたラジオペンチと、9号で提供したクロスレンチを用意する。写真のように、アクスルシャフトのアタマ部分(六角形の部分)をラジオペンチで、メタルナットをクロスレンチで保持し、クロスレンチを右に回してメタルナットを固定する。この時、リアタイヤがスムーズに回るよう、締め込み加減を調整する。

STEP
17



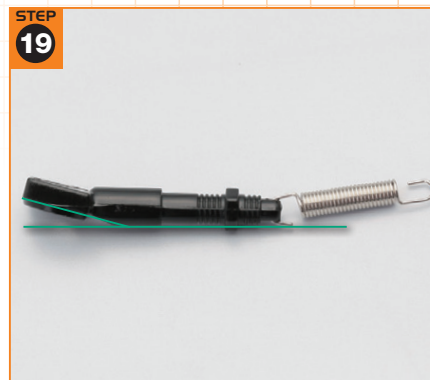
⑨スプリングホルダーを写真に示した向きで持ち、軸部分の先端に設けられた小さな穴に、⑥ブレーキペダルスプリングの先端を通す。

STEP
18



写真のようにブレーキペダルスプリングの全体を傾け、曲げ加工が施された先端部分を穴に引っ掛ける要領で通す。

STEP
19



スプリングを取り付けたスプリングホルダーを真横から見た状態。スプリングホルダーの上部は、上に反った形状になっており、反っている側が表面になる。

STEP
20



⑫ブレーキペダルを用意し、写真に示したアーム部の穴に、⑬、⑭と同じ要領でスプリングの先端を通す。取り付け終えた時に、スプリングホルダーの表面が見える状態にする必要があるため、こちらは写真のように“穴の裏側”からスプリングを通す。

STEP
21

ブレーキペダルにスプリングを通し終えた状態。スプリングホルダーとブレーキペダルでは、スプリングを通す向きが逆になっているが、この部分は完成直前の段階で調整を施すので、現時点では気にする必要はない。

STEP
22

32号で提供したメインフレーム右を用意し、写真に示した穴へブレーキペダルの軸部分を差し込む。

STEP
23

ブレーキペダルを真っ直ぐに差し込んだら、ペダルがスムーズに動くかを確認しておく。なお、ペダルに取り付けたスプリングや、スプリングホルダーが抜け落ちないように注意する。

STEP
24

スプリングホルダー上部に設けられた穴を、写真に示したメインフレームの穴に合わせる。この穴は縁が出っ張った状態になっており、スプリングホルダー上部の裏面にはまるようになっている。

STEP
25

⑤ビス(Bタイプ)をスプリングホルダー上部の穴にセットし、1番の+(プラス)ドライバーを使ってねじ込む。スプリングホルダーが回らないよう、しっかりと押さえてねじ込もう。

STEP
26

ブレーキペダルが抜け落ちないようにメインフレームを裏返し、裏側に貫通しているブレーキペダルの軸部分にマスキングテープを巻き付けて仮止める。

今号の完成



これで今回の作業は完了だ。次号からは、いよいよメインフレームにパーツを取り付ける作業に取り掛かる。本モデルではメインフレームを左右に2分割しており、パーツを順に積み重ねる要領で取り付けていくので、模型製作に不慣れな初心者でも安心して取り組めるはずだ。なお、使用しなかったパーツは号数を記入したビニール袋に入れて保管しよう。組み立てたパーツも次回の作業に備え、大切に保管しておこう。